

ストップ・ざ・がんの会だより

Vol. 25 2018.9
発行：NPO法人ストップ・ざ・がんの会 〈代〉092-762-3010
事務局：福岡市中央区天神2-1-3 7福岡平和ビル3階（公財）福岡県すこやか健康事業団

～第17回自主講演会に参加して～

平成30年6月23日（土）、福岡市民福祉プラザ601研修室で開催した自主講演会には70名以上のお客様に参加頂き、盛会のうちに終了しました。ご参加、ご協力頂きました皆様へ感謝申し上げます。

開会の挨拶を（公財）福岡県すこやか健康事業団常務理事の北川晋二先生にして頂きました。

続いて寸劇は、ストップ・ざ・がんの会会員によって「がん普及促進会議編」を演じました。

講演につきましては、医療法人社団広仁会広瀬病院院長、古賀稔啓先生より「最新の乳癌診断と治療」をテーマに、90分の予定時間をフルに使ってお話し頂きました。

特に今回は乳がんの話なので、男性の参加者は期待出来ないだろうと出席者の人数について心配しておりました。

参加募集途中、申込者が15～6人と少なかったことから、急速、下田理事長は新聞各社を訪問し、募集広告を依頼して回りました。その努力の成果もあり、当日は盛会となりました。



〈古賀先生の講演の様子〉

アンケートにおける意見では「解り易く良かった」、「寸劇も面白かった」との評価を頂きました。これは会員の努力によるものと感謝いたします。

参加者の中で50歳以下の方が17名も居られたことは嬉しかったです。（田中）



〈がんの会による寸劇の様子〉

～がん講演会を2回開催～

第1回目は、平成30年7月21日（土）（公財）福岡県すこやか健康事業団学術研究センター会議室で開催しました。受講者26人を前に五十嵐久人先生は「脾臓と脾臓について（最近の診断と治療の話）」と題して約1時間話されました。日本では脾臓がんは増加している。毎年3万9千人が罹っており、脾臓がんは他のがんと比べて悪性度が強く、脾臓がんの早期発見の為に「脾臓がんの検査を患者自ら希望することだ」とのことでした。



〈五十嵐先生の講話〉

次に宮原保健師による「当会の活動を始めた経過」と題する講演では、約30分間「検診受診啓発活動をする人は増えないが、がんに罹る人が増えてきて社会的問題になっている」ことなどについて話されました。



〈宮原保健師の講話〉

（がん講演会 続き）

第2回目は、8月4日（土）第1回目と同じ会場で行い、28名の受講者を前に講師の池田保健師は「今日の検しんは明日の安しん」と題して約1時間、「科学的根拠に基づいた検診は5大がん（胃・大腸・肺・乳・子宮）に有効性があることなどについて話されたうえ、「今日の話は5人の人に伝えてほしい」と述べられました。



〈池田保健師の講話〉



〈深野氏の講話〉

「あけぼの福岡」代表の深野百合子さんは約30分「がんと向き合って生きる」と題してご自身の乳房全摘手術をきっかけに「あけぼの会」に入り、数十年にわたり「乳がんの早期発見を知ってもらおう活動」など続けていること。「逃げない、ぶれない」が私のメッセージです」と語られました。

以上の講演会1回目、2回目とも参加者の座談会では「がん検診の中に脾臓がないのはなぜか？」など疑問が続出しそれぞれ講師から適切な応答をしていただくなど、参加者のがん検診に対する関心度合いの深さを実感した講演会でした。（高嶋）

出前講座 ★平成30年8月6日（月）福岡市箱崎公民館（東区箱崎1-27-17）10:00～12:00

今回は連日の35度を超える炎天下に35名も集まって頂きました。公民館長、箱崎校区自治会連合会長、公民館主事の挨拶後、がん検診啓発寸劇「買い物編」を6人の会員が上演しました。その後池田保健師が「日常生活上のがん対応」をきめ細かくクイズを交えながら話され、「がんの早期発見、早期治療の大切さを知人友人5名に是非伝えてください」とも語られました。「がん教育は、若い時から行われていれば、検診への取り組みも向上する」と締めくくられました。私も皆様の健康を祈りつつ暑い街頭へ戻って行きました。（下田昭）

★平成30年8月17日（金）福岡市賀茂公民館（早良区賀茂1-33-7）10:00～11:30

今回は、池田保健師のお話の後、「あけぼの福岡」の今村氏・宮脇氏に乳がんのお話を伺いました。ご本人の体験を、病氣・お金・家族等々の側面から語られ、出席者34名の皆様は席を立つこともなく真剣に聞き入っておられました。大変良かったと思えました。（筑紫）

平成30年度 がん征臣の集い が開催されます。 **（入場無料）**

テーマ 「伝えたい、大事なひとへ、がん検診」

日時：平成30年9月22日（土）13:30～16:10

会場：JR九州ホール（JR博多シティ9F）

講演：「肺がんの最新外科治療—Robotから肺移植技術の応用まで—」

講師／岩崎昭恵氏（福岡大学医学部外科科学講座 教授）

★昨年と同様、がんの会会員による啓発寸劇や精華女子高等学校吹奏楽部による演奏も行われます。ぜひ足をお運びください ♪♪

《ストップ・ざ・がんの会ホームページ》
<http://www.sukoken.or.jp/stopcancer/>

ご寄付のお礼（30年6月～30年9月）
10名様より38,000円と『青い鳥はがき』を多数頂きました。
誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



「川柳」
姉ちゃんになつて抱っこをまんする
トランプ金どつちが上手残りは
台風の東に西にへそ曲がり
豪雨やら台風猛撃ナンマイダ
山崩れ川は氾濫どこに住む（はこび）

「ご寄付のお願い」
NPO法人ストップ・ざ・がんの会は、がん検診の受診率向上を目指し啓発活動を行っています。活動にご賛同いただける方からのご寄付をお願い申し上げます。10千円（何口でも結構です）
振込先：ゆうちょ銀行 振替口座/記号01700-4 番号125067
加入者名/特定非営利活動法人ストップ・ざ・がんの会